



わかやま

和歌山県精神保健福祉センター 2023年8月 No.96

もくじ

- P1 「障害福祉課長に就任して」和歌山県福祉保健部福祉保健政策局 障害福祉課長 新解美紀 氏
- P2 「わかやまこころのフェスタ」開催のお知らせ／精神保健福祉協会こころの集い講演会開催報告
- P3、P4 県精神保健福祉センターからのご報告／ご案内／自殺予防週間
- P5 地域の様々な活動紹介コーナー 摂食障害からの回復を目指す自助グループ「Eサークル」
- P6 は一とふるネットワーク「たなかの杜 フォレスクール サービス管理責任者 清水勇希 氏」



「障害福祉課長に就任して」

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局

障害福祉課長 新解 美紀

本年4月に障害福祉課長を拝命しました新解美紀です。雇用推進課（現労働政策課）で障害のある人の就労支援に携わった後、障害福祉課で平成19年度から25年度まで7年間、施設福祉班で就労支援を主に業務し、令和元年度から2年間は主幹として在職しました。障害者施策に関する経験年数は長いのですが、3回目の障害福祉課となる今回は課長となり改めてその責任の重さを感じているとともに、これまでの経験を活かして障害者施策の充実に努めたいと考えています。

私は、障害のある人の就労支援については、いろいろな事業が実施され一定の成果が現れてきているものの、企業での就労や障害サービス事業所での支援等はまだまだ十分ではないのではと考えています。障害のある人の就労に対する様々な補助金や販路開拓、備品整備等の支援策はもちろん必要ですが、その前提として、障害のある人を労働力のある人ととらえることができる環境を作っていくことが大切だと考えています。障害のある人が仕事をするためには、なにかの配慮や手助けが必要なことはあると思いますが、最初から労働力がないと決めつけるのではなく、一緒に働ける仲間だと考える。そういう環境を作っていくためには何が必要なのか考えるのが、私のライフワークと言ってもいいかもしれません。

ライフワークと言いますと、もうひとつ。これはまだまだ未熟で自慢するにはほど遠いものですが、前々回に当課に配属されていた頃から始めた手話をもっとしっかりと勉強したいと考えています。なかなか勉強する時間を作るのが難しいところがありますが、当課には頼りになる先生もいますので上達できるよう取り組みたいと思います。

また、私は今、すごく楽しみにしていることがあります。子ども・女性・障害者センターの老朽化したプールを取り壊し、新たに建設中のプールが今年度中に完成する予定となっていることです。前回当

課の主幹のときに体育館への冷房設置と併せて取り組んだ事業で、実現のためには紆余曲折があり苦労したので思い入れもあります。障害のある人が安心して楽しみ、健康づくり等に取り組める施設となると思いますので、多くの方に利用していただきたいと考えています。

障害福祉課は障害者施策にかかる様々な業務を担っており、精神保健分野においても精神科救急医療体制の充実や、自殺対策、依存症対策、引きこもり支援など取り組むべき課題が数多くありますが、一つずつ着実に取り組んでいきたいと考えております。障害のある人もない人も安心して共に暮らせる社会を目指して、微力ながら精一杯がんばりたいと考えておりますので、関係者の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



主催 和歌山県精神保健福祉センター

わかやまこころのフェスタ2023開催

今年のフェスタも楽しさいっぱい！



日時 令和5年11月18日(土) 10:00~16:00

会場 和歌山県勤労福祉会館プラザホープ(和歌山市北出島1丁目5番47号)

入場無料、手話通訳・要約筆記あり、講演会のみ要予約 締め切り11月14日



- ① 10:00~16:00 2階ギャラリー ブース
団体の活動紹介、作品展示、販売
- ② 13:00~13:15 4階ホール グループ活動紹介
アポロッサムによる「ジャンベ演奏」
- ③ 13:20~13:40 4階ホール
和歌山県精神保健福祉協会会長表彰
ほっとする 笑顔つながる こころの絵の表彰
- ④ 13:50~15:30 4階ホール
講演会「共に成長する～発達障害とカサンドラ症候群の
理解を深める～」
講師 心理学講師、ラポール・ラボ代表 ジュンコ田中 氏

開催報告

【精神保健福祉協会こころの集い講演会】

【日時】令和5年6月13日(火) 14:00~15:40

【場所】県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 1階大ホール

【内容】『ドキュメンタリー映画「牧師といのちの崖」上映と講演
講師 白浜バプテスト基督教会牧師 藤藪庸一 氏

【参加者】54名

参加された多くの方が人に寄り添うこと、人とつながり続けることの大切さと大変さに感動されるとともに、支援する中で向き合う現実に衝撃を受けられました。



【思春期セミナー】

【日 時】令和5年7月31日(月) 13:30～15:00

【会 場】和歌山ビッグ愛 2階 201会議室

【講演会】演題『思春期の発達課題とメンタルヘルス』

講師：児童精神科医 小野善郎 氏

(前和歌山県精神保健福祉センター所長)

【参加者】75名

思春期には見放さずつながり続けること、自然な育ちの一部として支援することについてお話いただきました。

参加者からは時間が足りないという声が聞かれました。満員御礼。



【市町村自殺対策計画策定にかかる研修会】

【日 時】令和5年8月4日(金) 13:30～15:30

【会 場】和歌山ビッグ愛 12階 1201会議室

【内 容】講演『自殺対策における生きづらさをかかえた人の支援について』

～生きることの包括支援を考える～

講師：厚生労働大臣指定法人・一般社団法人

いのち支える自殺対策推進センター

地域連携推進部 しょうじひろみ 生水裕美 氏

グループディスカッション



【参加者】12名

庁内横断的な意思決定の体制をつくること及び生きづらさをかかえた人への支援について事例にもとづいてお話いただきました。グループディスカッションでは、参加者が日頃困難に感じていることなどについて情報共有するとともにご助言いただきました。



9月10日(日)から16日(土)は自殺予防週間

～ひとりも取り残さない社会を目指して！～

自殺対策基本法に基づき、毎年9月10日から16日を「自殺予防週間」、毎年3月を「自殺対策強化月間」と定めて、国、地方公共団体、関係団体等が連携して「いのち支える自殺対策」という理念を前面に打ち出した啓発活動を推進しています。啓発活動によって悩みを抱えた人が必要な支援が受けられるよう支援策を重点的に実施する。また、自殺予防週間や自殺対策強化月間について、国民の約3人に2人以上が聞いたことがあるようにすることを目指しています。(自殺総合対策大綱より)

全国の自殺者数は、平成22年以降減少を続けていましたが、令和2年から新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で自殺の要因となり得る様々な問題が悪化したなどにより増加しています。また、小中高生の自殺者数は増加傾向にあります。

令和4年の自殺者数は21,238人(人口10万人

対17.4)。和歌山県では176人(人口10万人対19.6)でした。(厚生労働省人口動態統計(概数)より)

自殺の多くは多様で複雑、複合的な原因及び背景をもっており、様々な要因、複雑な問題が関係し、心理的に追い込まれた末の死であるといわれています。そして誰もが自殺に追い込まれる危機に遭遇する可能性があります。危機に至った人の心情や背景について正しく理解を深めること、危機に至った場合には誰かに援助を求めることが適当であるということが、地域全体の共通認識となるよう啓発を進めていきましょう。

「まさか」ではなく「ひょっとして」という視点で身近な人のいつもと違うことに気づきましょう。

そして違うと感じたら、声をかけてみます。次に話を聴いて、サポート手段を伝え勧めます。

精神保健福祉センターでは様々な問題を抱えている方の相談窓口を HP に掲載しています。

1 生きる支援相談窓口一覧



2 子供や若者の相談窓口リーフレット
3 わかちあいの会和歌山『うめの花』



ご案内

【専門研修（依存症）】

内 容 **講 演** 『トラウマインフォームドケア～依存症とトラウマ～』
講師：兵庫県こころのケアセンター 亀岡智美 氏
日 時 令和5年10月17日（火） 14:00～16:30
会 場 和歌山ビッグ愛8階801会議室（和歌山市手平2丁目1番2号）
対 象 保健福祉・医療・行政等の援助職従事者
定 員 40名（事前申込・先着順）

【ギャンブル等依存症者支援従事者研修】

内 容 **講 演** 『依存問題における借金・金銭関係の対処法
～対話による処方箋づくりの試み～』
講師：認定NPO法人ワンデーポート理事長、司法書士 稲村厚 氏
日 時 令和5年11月7日（火） 14:00～16:30
会 場 和歌山ビッグ愛12階1201、1202会議室（和歌山市手平2丁目1番2号）
対 象 保健福祉・医療・行政等の援助職従事者、司法関係者
定 員 40名（事前申込・先着順）

【アルコール健康障害対策講演会（和歌山）】

内 容 **講 演** 『アルコール健康障害のことを知っていますか？
～お酒とのつきあい方について考えてみませんか？～』
講師：東布施野田クリニック 院長 野田哲朗 氏
体 験 談 NPO法人 和歌山県断酒連合会
アルコールクス・アノニマス（A A）
取 組 紹 介 県立こころの医療センター職員
日 時 令和5年12月3日（日） 14:00～16:30
場 所 和歌山ビッグ愛2階201会議室（和歌山市手平2丁目1番2号）
対 象 どなたでもご参加いただけます
定 員 40名（事前申込・先着順）

参加費 いずれも無料

申込み・問い合わせ 和歌山県精神保健福祉センターへお電話もしくはFAXで
6ページ下部に電話番号、FAX番号を記載しています。

手話通訳・要約筆記が必要な方は、1か月前までに申込みください。



E サークル

令和5年6月26日(月)にミーティングを中心とした、グループ活動を通して摂食障害からの回復と成長を目指している自助グループ「E サークル」の岸和田オープンミーティングにお伺いしました。「E サークル」は岸和田と和歌山で月1回定期的にミーティングをしています。

参加者は6人、テーマは取材者を気遣って「私を話す」自己紹介を交えた言いっぱなし聞きっぱなしのミーティングです。秘密厳守です。13:30 スタート、お話は尽きない感じで引き続いての交流会は4時まででありました。参加者は和歌山県と大阪府からの女性の方々です。参加された方は、ミーティングを通して、独りではない安心感が得られ、自分への理解が深まっていくとおっしゃいます。

また、設立当初からEサークルを支え続けていらっしゃる精神保健福祉士の高部美二三先生も参加されていてお話を伺うことができました。およそ40年前に、Eサークルの原型ができました。当時、アルコール依存症と診断されて、飲酒をやめないと多くの方が5年以内に亡くなっていく中で、女性や若年者はアルコール依存症になっても専門病院に入院させてもらうことができませんでした。また、摂食障害の方については診てくれる医療機関がありませんでした。自分たちで何とかならないか、ひとりでは無理だけど仲間とならできるだろうかと生きるために共に回復を目指しました。活動は次第にグループ化していき、2001年に摂食障害者の自助グループ「Eサークル」が発足しました。和歌山グループの活動は2013年1月から始まりました。

「Eサークル」はコミュニティ型です。失敗もするけど、その都度成長を目指して頑張ります。グループは当事者の生き方を獲得する場なので終わりはありません。

○和歌山グループオープンミーティング
毎月第2水曜日
ミーティング 19:00~20:00 (開場 18:30)
交流会 20:00~20:30
和歌山市ふれ愛センター
(和歌山市木広町5丁目1番地の9)

○岸和田グループオープンミーティング
毎月第4月曜日(祝日は休み)
ミーティング 13:30~14:30 (開場 13:00)
交流会 14:30~15:00
岸和田市立福祉総合センター
(岸和田市野田町1丁目5番5号)

【取材後記】

Eサークルの活動はアソシエーション型ではなくて地域にねざしたコミュニティ型です。主に大阪南部の方と和歌山の方が対象です。それを伺ってほっとされる方もいらっしゃるでしょう。気軽に参加してみませんか?とお声がけできそうだと感じました。

和歌山県精神保健福祉センターだより「わかやま」への掲載記事募集!!

日頃より、精神保健福祉の推進にご協力いただいている施設・団体の皆さまの活動紹介やPRなど、当センターだよりに掲載させていただく記事を募集いたします。イベントや新しい取り組み等、広く周知させていただきます。

*センターだより発行時期:年4回(5月・8月・11月・2月それぞれの下旬)

*掲載時期や掲載枠については限りがありますので、まずは和歌山県精神保健福祉センターにご相談ください。



精神保健福祉の第一線で働く関係スタッフの紹介コーナー

はーとふるネットワーク

たなかの杜 フォレスクール

サービス管理責任者 清水勇希さん



-自己紹介をお願いいたします。

和歌山の田辺で生まれ、高校卒業後は航空自衛隊に入隊したり、大阪で人生の勉強と思いアルバイトをしながら20歳まで過ごし、その後ふたば福祉会に就職しました。今年で16年目になり正直な気持ちはこんなに長く勤めているとは思っていませんでしたので年数を数えてびっくりしています。(笑) それでもここまで続けてこれているのは何かの縁なのかなと感じています。

-たなかの杜フォレスクールとは？

前回記事を書いてくださった榎本さんから少し説明はありましたが、フォレスクールとは自立訓練という事業を利用して、2年間社会に必要な力や、地域で生きていくために必要な力を身につける事業と位置付けて行っています。

-清水様のお仕事やその魅力は？

2年間で少しでも利用されているメンバーが社会、地域で打ち解け生きていきやすいように色々な活動や体験を経験してもらえよう考えながらプログラムを提供しています。その中でやっぱり人間は一人で生きていくことは困難です。沢山のひとと様々な形でコミュニケーションなどを取りながら助け合うことで一緒に成長できる、そんなお仕事だと思っています。その成長の過程で悩んだり、一緒に達成感を感じたりできることがとても魅力的だと思っています。

-支援をする際、一番大切にしていることはどのようなことですか？

2年間の中でメンバーが変化していく姿は様々です。なかなか目に見えない内面の部分(場の空気を読む力や共感する力等)であったり、反対に原付免許が取得できたなど目に見える部分であったりとその出来事、変化に支援員がいかん気づき、メンバーへフィードバックできるか、また、目に見えない育ちをどのような活動を通して身につけていってもらえるかなどを考え支援員内で話をしていくことを大切にしています。

-今後の抱負について教えてください。

先輩達が青年期の大切さを伝え続けたことで全国に学ぶ作業所がすごく広がってきました。少しずつ自分たちの世代が中心になってきている中、この学ぶ作業所の大切さをもっと多くの人に知ってもらい、障害のあるメンバーたちの選択肢が増えるようこの仕事を続けたいと思います。

-最近のトピックや、はまっていることを教えてください。

高校野球観戦や健康麻雀などが好きです。

-読者の皆様へのメッセージ

ふたば福祉会でよさこいダンスチームを作りました。フォレスクールが終わった後でも色々な体験をしてもらいながら日々学んでいます。10月に開催される弁慶まつりで発表するので是非見に来てくださいね。



-次回は、県立こころの医療センター ながきこけんいち 長嶺賢一さんです。



和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

(073) 435-5194 FAX (073) 435-5193